

【平成22年度採用職員】新人アンケート

Q1. 入省前に持っていたイメージは実際入省してみて変わった？

パソコンの前で黙々と仕事をしているイメージでしたが、実際は作業依頼をするために歩き回ったり、他課室の人と電話でやりとりをするなどコミュニケーションをとることが多いです。また、暗くてどんよりした職場だと思っていましたが、実際は、何とか作業のメ切りを延ばすために満面の笑みを見せることや、相手の喜ぶような言葉を並べてみたりすることなど非常に血の通った人間らしい職場でした。

Q2. 職場の雰囲気はどんな感じですか？

厳しい上司も多いですが、育ててくれているという雰囲気があります。例えば、大臣レクに随行させてくれたり、議員秘書からの照会の回答を私からさせてくれたり、非常にいい経験をさせてくれます。また、急に呼び出されて、「仕事とは何か」について熱く語ってくれることもあります。

Q3. 仕事をする際に気を付けていることは？

一度注意されたことを繰り返さないことです。最初の頃は何をしても注意されます（僕は今もですが）。しかし、どの仕事にも共通する部分があるので、今後同じことで失敗ないように、上司に注意された指摘をまとめています。また、厚生労働省に入ってからはじめて行政の仕事に触れたため、わからないことだらけなので、作業が来た場合は、時間の許す限り勉強をしています。

Q4. 職業安定行政を目指す皆さんへのメッセージをお願いします。

非常に厳しい職場だと思います。夜遅くまで働くこともありますし、国民の方からの苦情が来ることもよくあります。また上司が恐いです。ただ、その分成長できる職場ではあると思いますので、努力次第で、たとえ先輩であっても追い抜くことは可能です。ぜひ入省し、厳しい環境を活かし、どんどん成長してください（でも、僕をすぐ追い抜くことは勘弁してください）。

Q5. 学生時代はどのように過ごしていましたか？

正直勉強はあまりしておらず、サークルの飲み会ばかり参加していました。ただ、そこで学んだちょっとした心遣い（たとえば、二次会の会場を事前にセットしておくことや飲みつぶれた人のためタクシーを店の前に呼んでおくことなど）は、仕事にも何となく結びついているような気がします。したがって、学生時代の経験は、直接的ではないですが仕事に結びつくと思うので、ぜひ学生の方は、今しかできない経験をするをお勧めします。